



令和5年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

基調報告

ノーリフティングケアの 効果等について

2024.2.26



愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業講師
(愛媛県介護実技普及指導員・講師)

守谷理佐 成川ゆかり

目次

1. はじめに
2. 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の目的
 - ・目的について
 - ・愛媛県の特徴
3. 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の流れ
 - ・トータルセーフティケアについて
 - ・実施内容
4. 今年度の課題
5. 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の効果について

はじめに

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の取組み

- 愛媛県
- 愛媛県社会福祉協議会
- 推進事業所
- 令和元年～令和4年度の
モデル事業所と推進事業所が協力事業所として参加
- ノーリフティングケア普及啓発事業講師(愛媛県介護実技普及指導講師)と
愛媛県介護実技普及指導員

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の目的

- 介護従事者の離職防止
- 介護人材の安定的確保

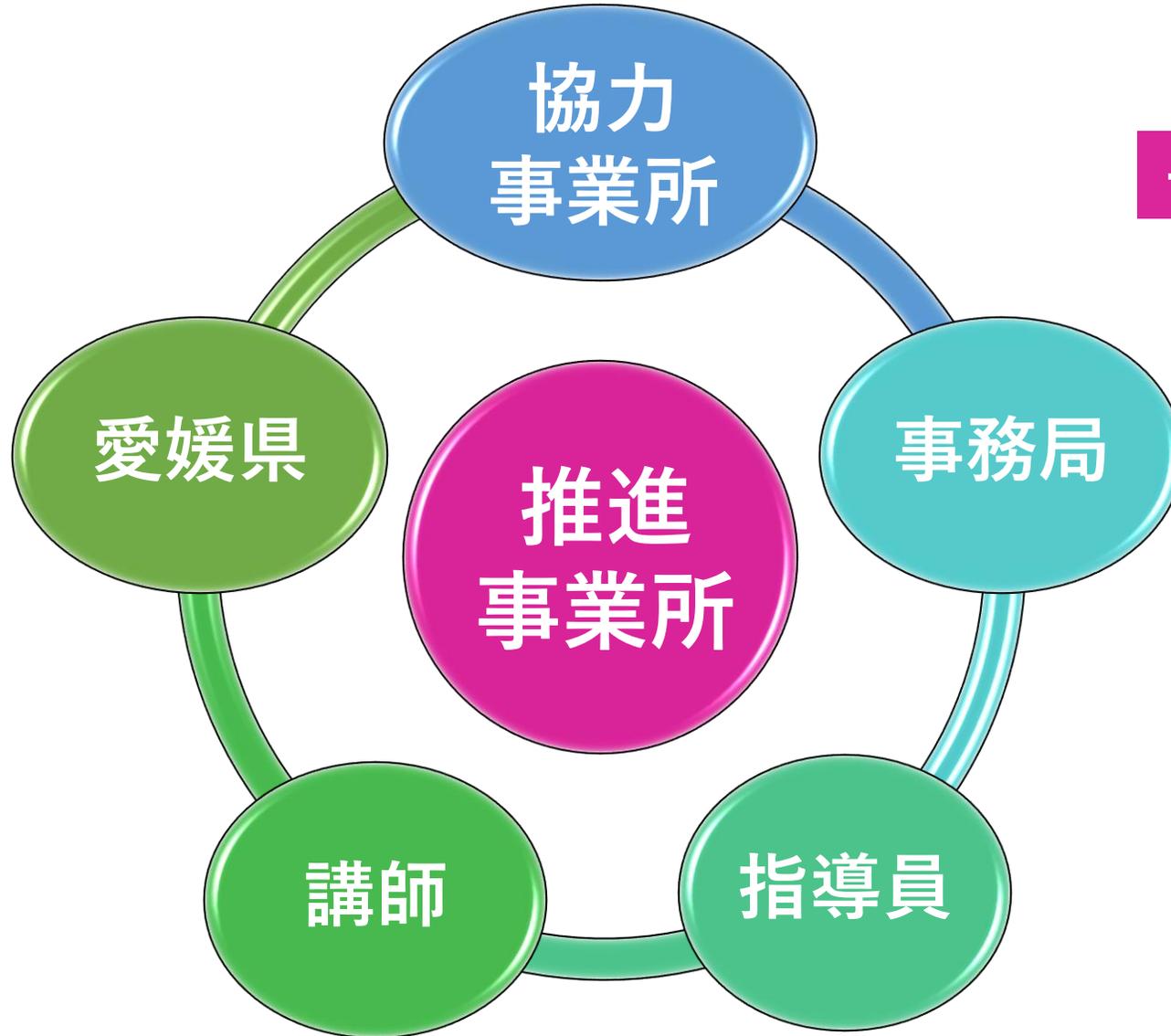


- 要介護者及び介護従事者双方の負担軽減
- ケアの質の向上



- 要介護者の自立度を考慮した適切な福祉用具・機器の活用
- 身体機能・構造に即した介護技術の実践
- 介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康上の不安なく働くことができる職場環境作り

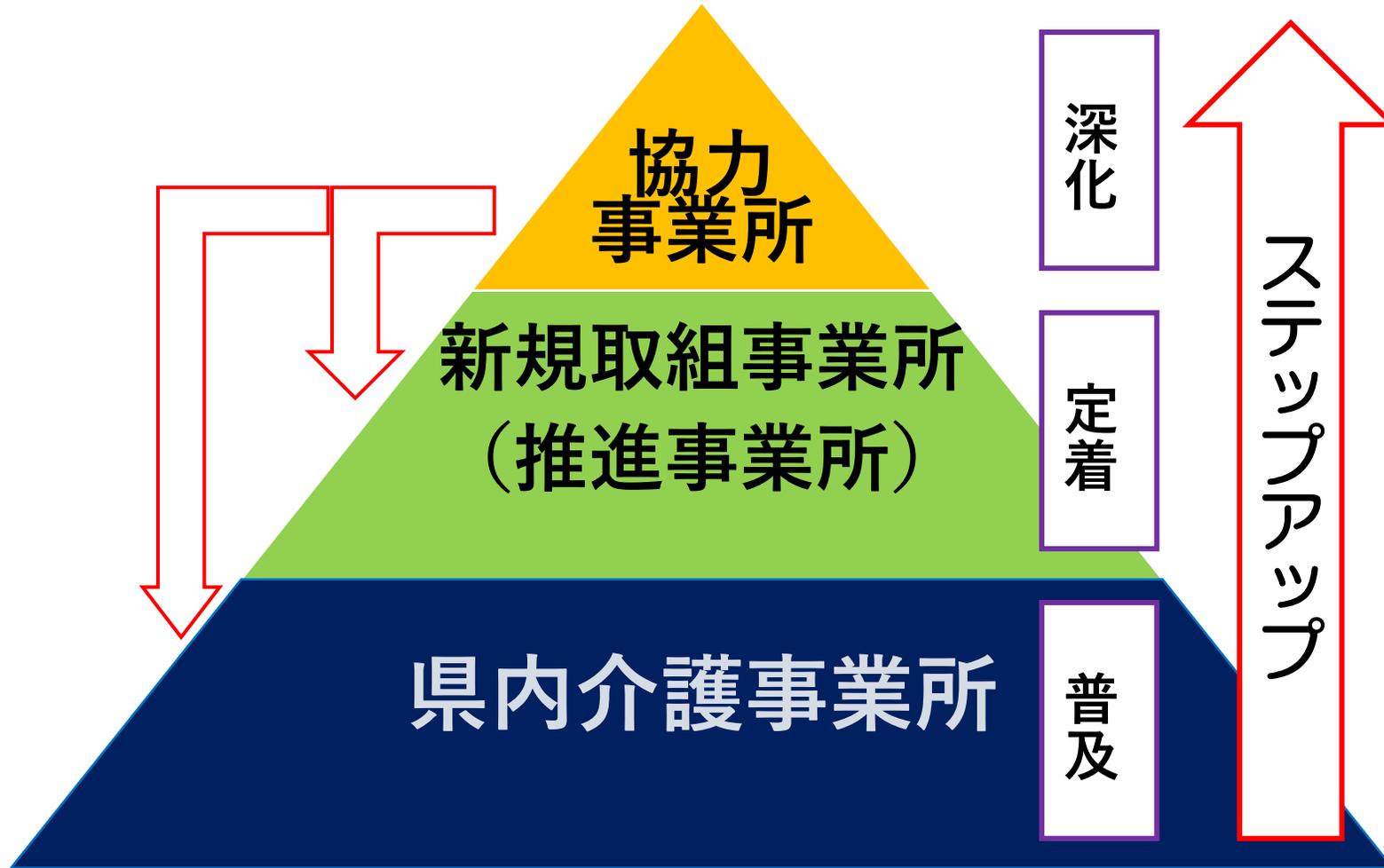
令和4年度からの愛媛県の特徴



チームノーリフティングケア

ノーリフティングケアに取り組んできたモデル事業所や推進事業所が協力事業所として**アドバイスや情報交換**を行っている

協力事業所は指導的存在へ

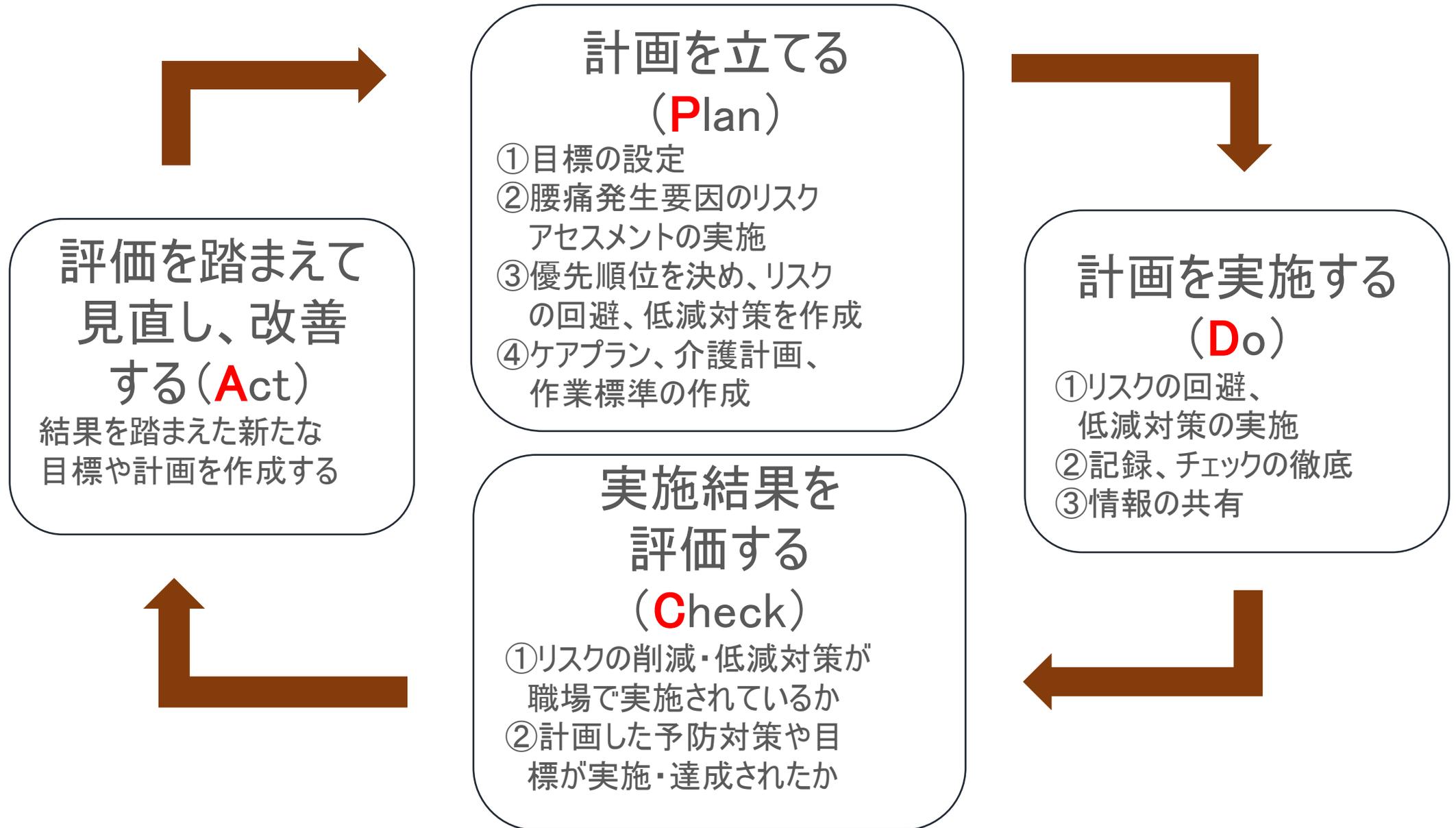


令和5年度 協力事業所

- 特別養護老人ホーム ル・ソレイユ
- 特別養護老人ホーム シルバーハウス吹揚
- 介護老人保健施設 ふなき久和園
- デイサービスセンター かおり
- 介護老人保健施設 ふじの園
- 地域密着型特別養護老人ホーム 三崎つわぶき荘
- 特別養護老人ホーム 皆楽園
- 特別養護老人ホーム つわぶき荘

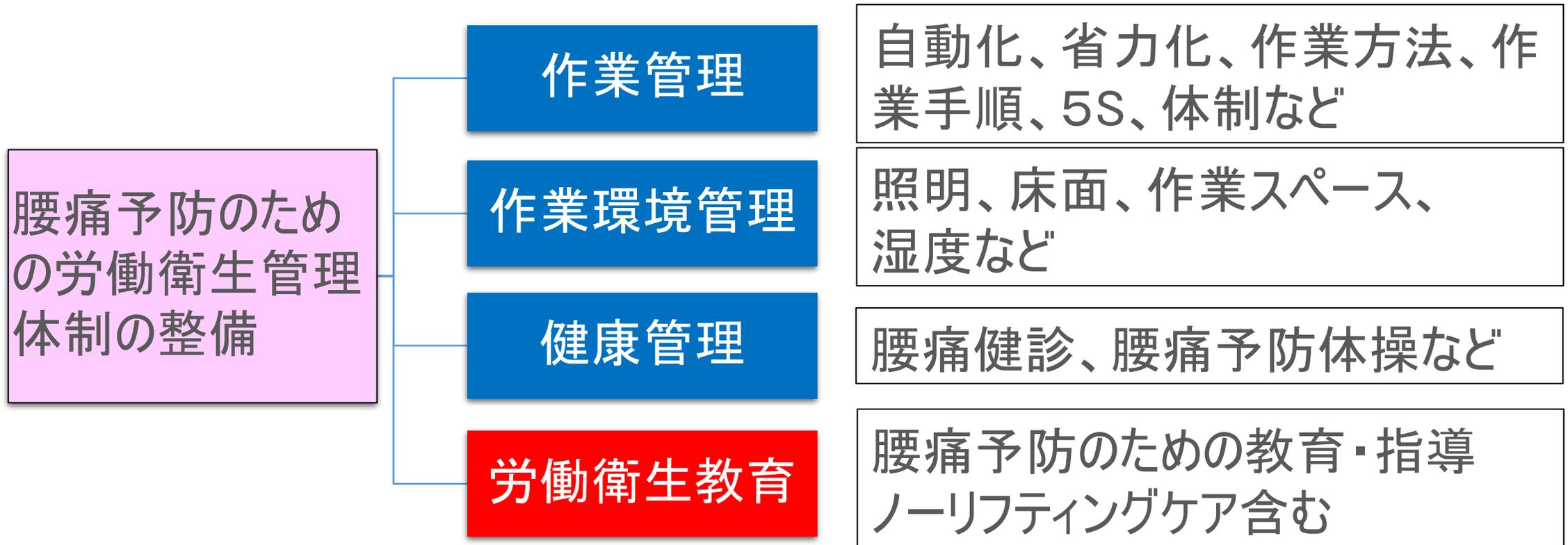
**令和5年度
普及啓発事業の流れと
課題**

ノーリフティングケア普及啓発事業におけるPDCAサイクル



労働衛生管理体制

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



- ◆リスクアセスメントを行い、作業管理、作業環境管理、健康管理、労働衛生教育を的確に組み合わせて、総合的に実施
労働安全衛生マネジメントシステムの活用が重要



愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業では

利用者・介護者
双方の安心・安全

負担軽減



トータルセーフティケア

◆介護者の負担軽減

- ・働きやすい環境づくり(労働衛生管理)
腰痛予防、勤務体制、服装・靴、段差、空調、5S、福祉用具など

◆利用者の負担軽減

- ・自立支援
- ・**トータルセーフティケア**
(24時間の姿勢管理)



令和5年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

1. フォローアップ研修
2. マネジメント研修
3. 推進会議
4. 指導者講習

5. 全体研修
6. アドバイス研修
7. 個別研修①②③、居室等巡回
8. 実践報告(愛媛県ノーリフティングケア普及啓発セミナー)

1. フォローアップ研修 令和5年5月18日

- 対象：モデル事業所・推進事業所
- 講義「ノーリフティングケアの更なる浸透を目指して」
- グループワーク「課題共有と解決策の検討」
- 事務局説明「今年度事業内容と協力事業所募集について」



2. マネジメント研修 6月16日

- 事務局「事業説明」

- 講義「安心して働き続けることができる職場をつくるための

ノーリフティングケア」びわこリハビリテーション専門職大学教授 埜田和史氏

- 事例報告「ノーリフティングケア導入による効果等について」

介護老人保健施設 ふなき久和園、特別養護老人ホーム みどりの郷

- まとめ「今後の普及を図るために」

3. 推進会議 7月28日

- 事業実施方法及び指導方針について

- 推進事業所の選考

- 特別養護老人ホームみどりの郷 取り組み報告動画視聴 等

4. 指導者講習 8月4日

- 事業説明「ノーリフティングケア普及啓発事業について」
 - ・ノーリフティングケアの目的、意識の統一についての説明
- 実技「からだの使い方と福祉用具の使い方等について」
 - ・介護者の負担軽減として からの使い方について
 - ・ノーリフティングケアに有効な福祉用具の特徴と使用方法



5. 全体研修（推進事業所・協力事業所） 8月10日

■「事業説明」事業内容の説明

導入前アンケート、リスク見積り書、実施計画書や
優先度チェックリスト等の様式1～7の説明

■「福祉用具の紹介」

■「からだの使い方」

「スライディングシート・ボード等の使い方」等



6. アドバイス研修(協力事業所訪問) 9月～

- 協力事業所(モデル事業所・推進事業所)へ訪問し、
取組を行った経験から様々なアドバイスを受ける
- リスク見積り書・実施計画書等様式の確認を行う



7. 個別研修①(推進事業所訪問)

■ 個別研修①～介護者の安心・安全についての研修～

「介護者の姿勢・身体の使い方」「持ち上げない・引きずらない」
持ち上げる・引きずるといった姿勢がもたらす影響について学び、
自分たちが実際に体験することで、
自分たちの負担だけでなく
利用者への負担や二次障がい
につながっていることを理解して
もらえるように進める



7. 個別研修②

■ 個別研修②～利用者の安心・安全についての研修～

「姿勢の見方」

日常生活の支援を行う上で、**24時間の姿勢管理**が重要であることを伝えて、姿勢を整える前段階として、**姿勢の見方**を理解し、**重さの流れ**を意識することができるように進める



7. 個別研修③

■ 個別研修③～利用者の安心・安全についての研修～

「姿勢を整え方」

個別研修②で学んだ姿勢に与える影響をしっかりと理解することで姿勢を見て、**重さの流れを理解**できるようになり、目的に合わせた

姿勢の整え方を実践できる

ように進める

- ・リラックスしてもらう場合
- ・動きを出すために支える場合



7. 居室等巡回

■居室等巡回

推進事業所の都合で巡回の時期や回数はそれぞれだが、
実際の施設内環境の確認と
利用者の居室を訪問して姿勢等についてアドバイスを行う

8. 実践報告 令和6年2月26日

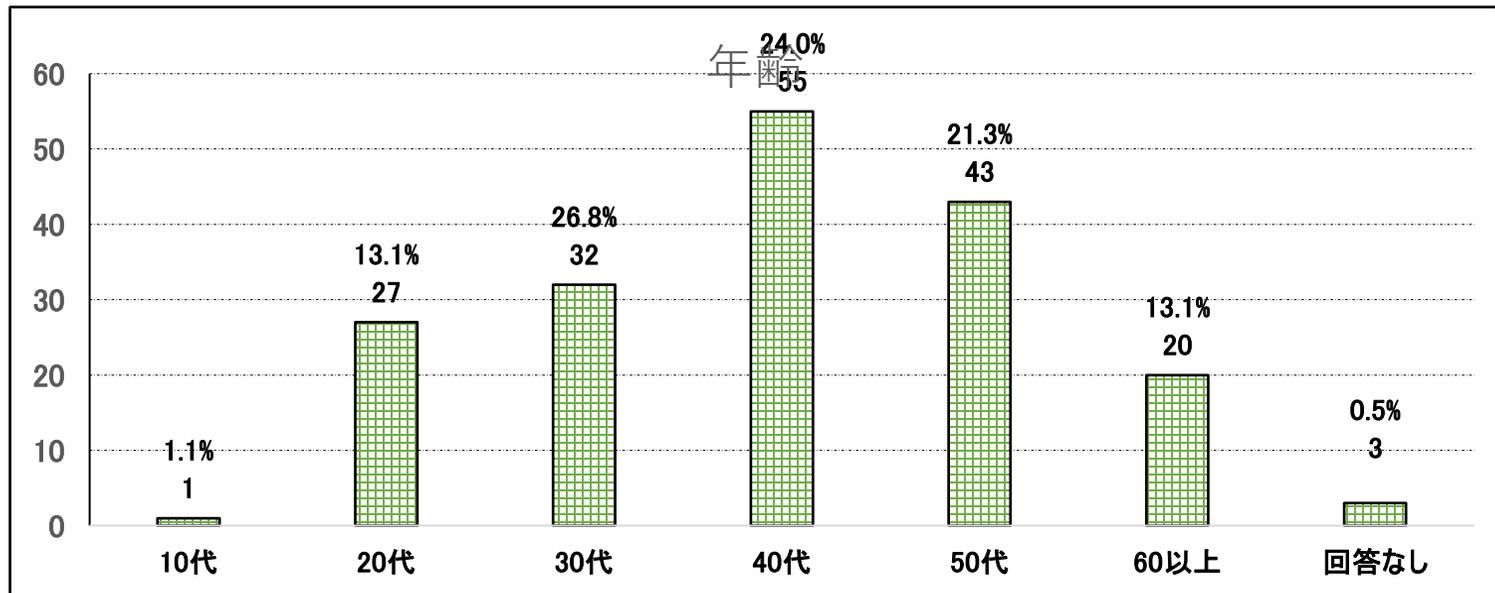
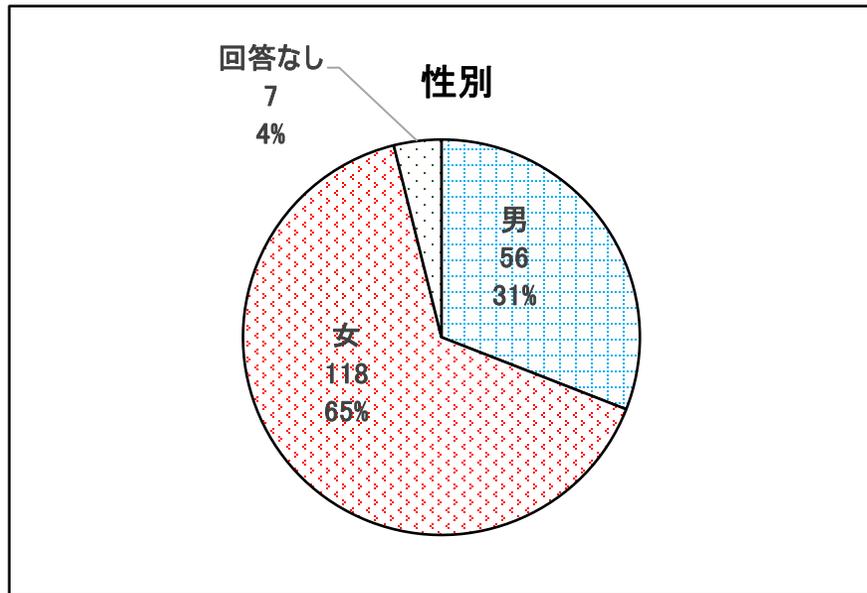
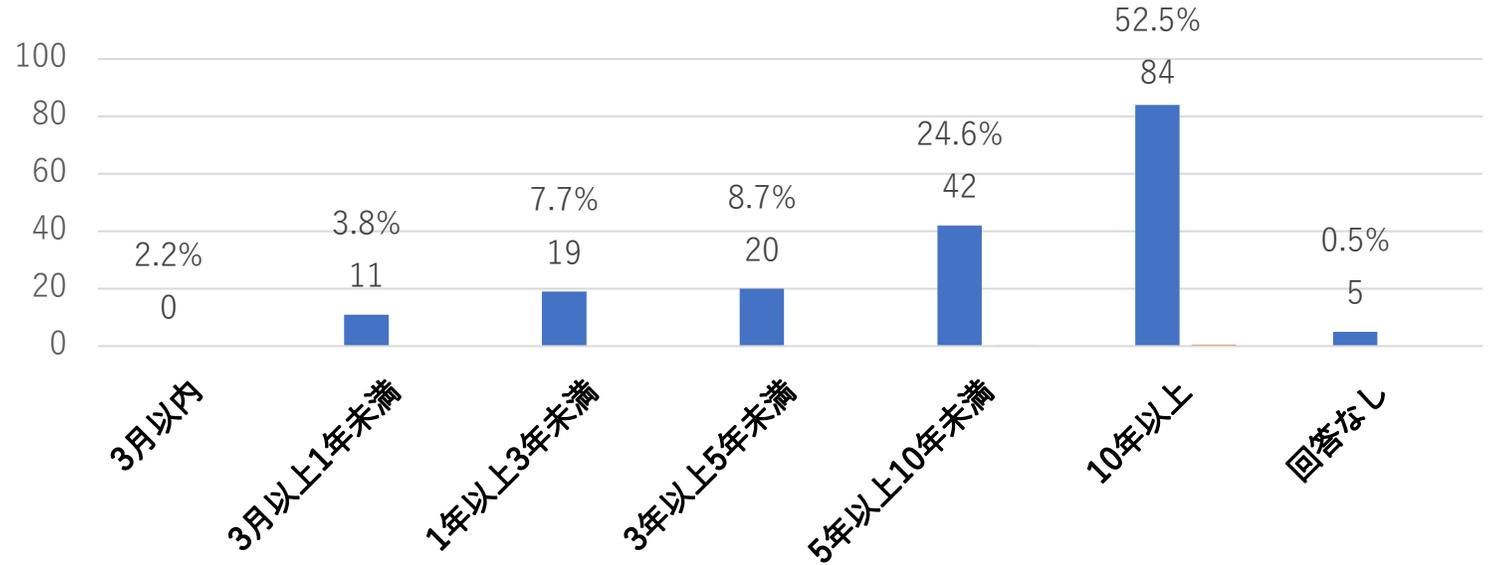
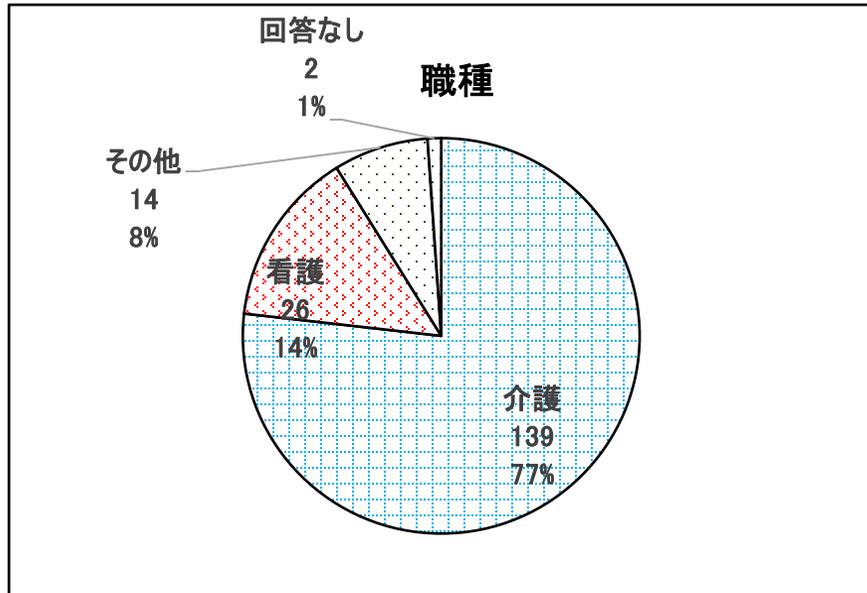
■愛媛県ノーリフティングケア普及啓発セミナー（本日）

取組みの課題

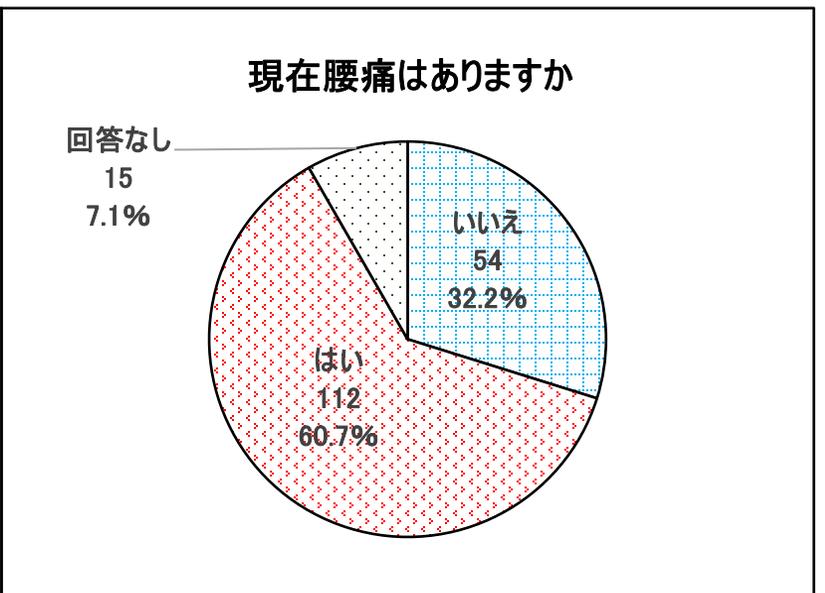
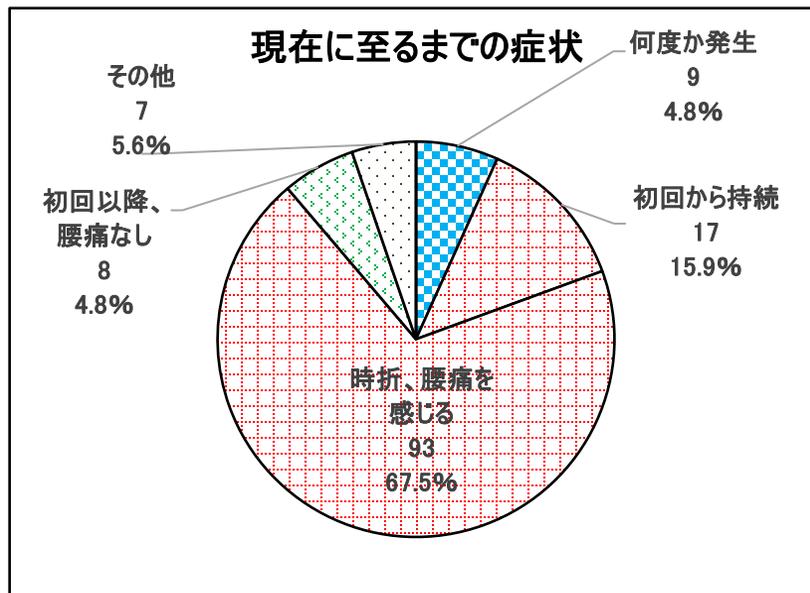
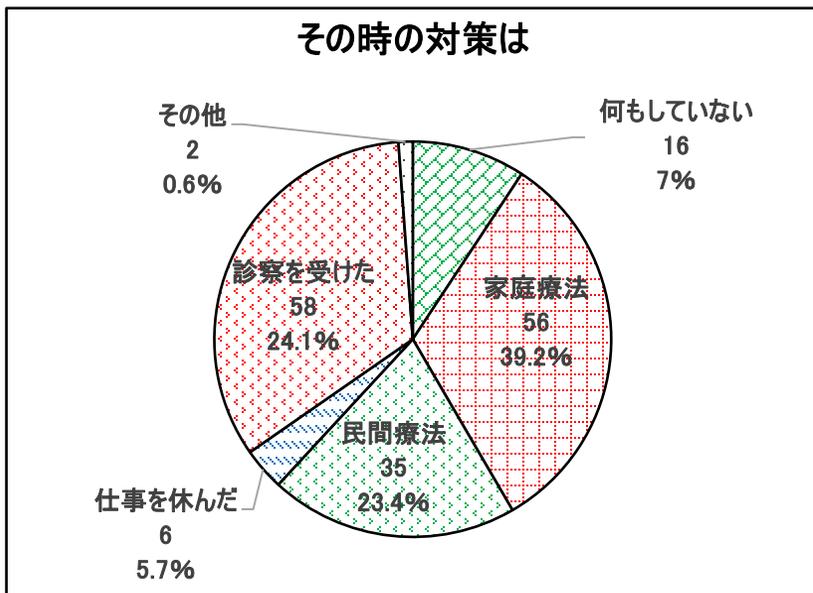
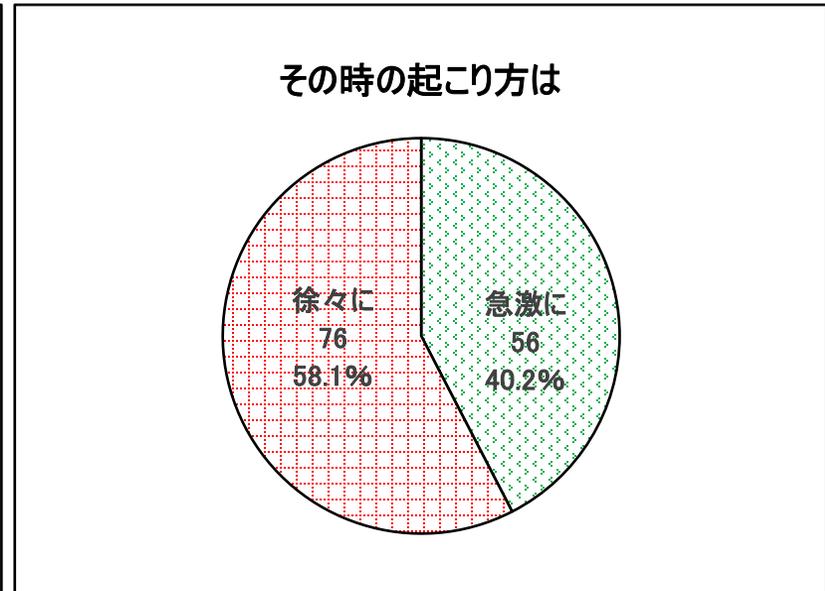
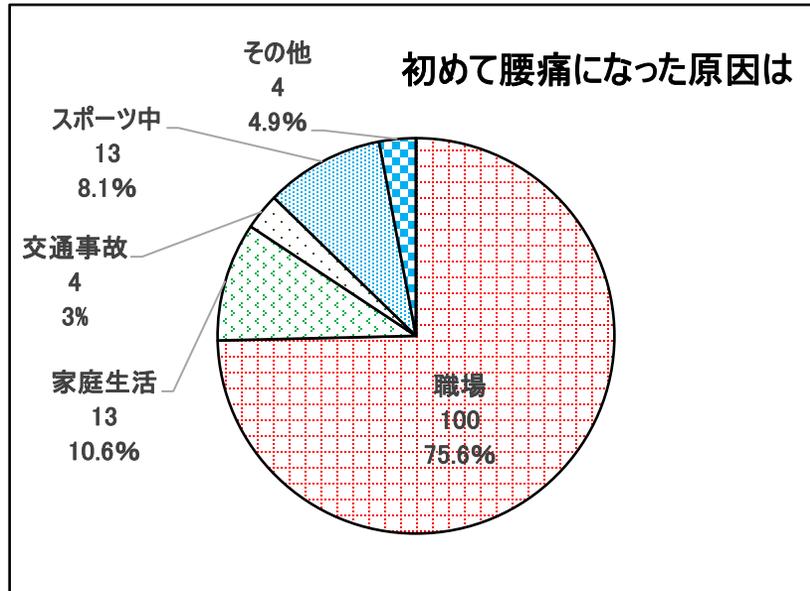
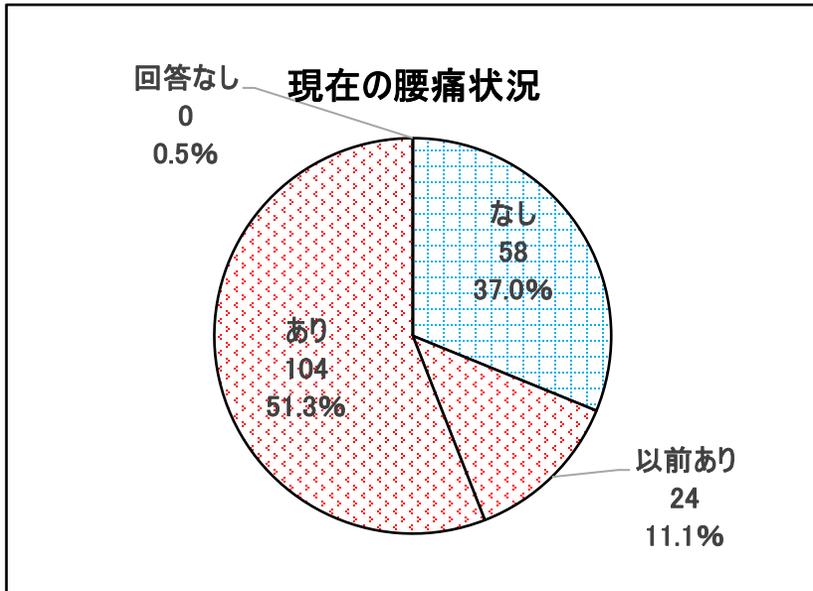
- ・訪問によるアドバイス研修までの期間が限られており、
対象となる全ての利用者の把握と様式の記入と確認が難しい
 - ・職員への実施計画書の周知・技術の伝達ができない
 - ・個別研修に参加できていない職員や多職種との周知・共有が難しい
 - ・有効と思われる用具の導入ができていない
 - ・感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ等）による延期
 - ・導入後アンケートの実施が未定の事業所もある
（腰痛軽減等の検証に至っていない等）
- ⇒来年度に向けてもフォローアップが必要と思われる

令和5年度
導入前職員アンケート
結果

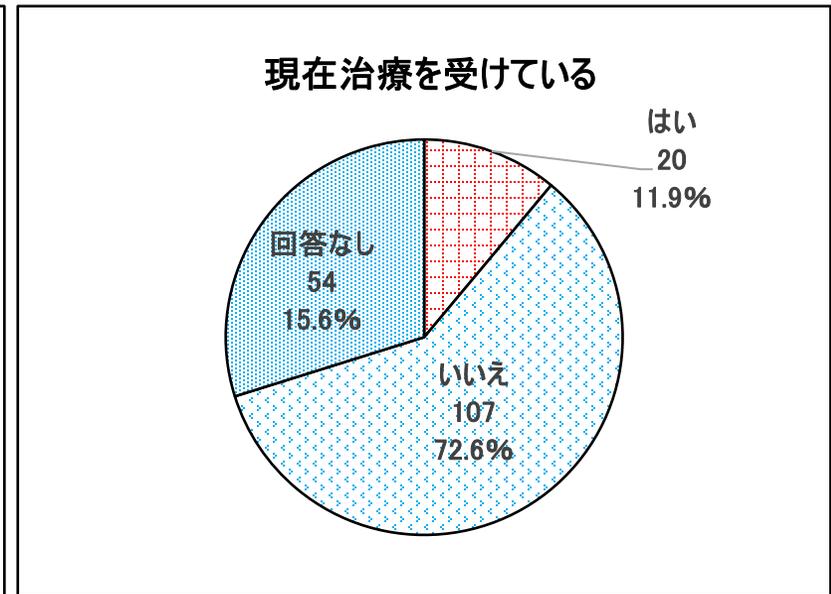
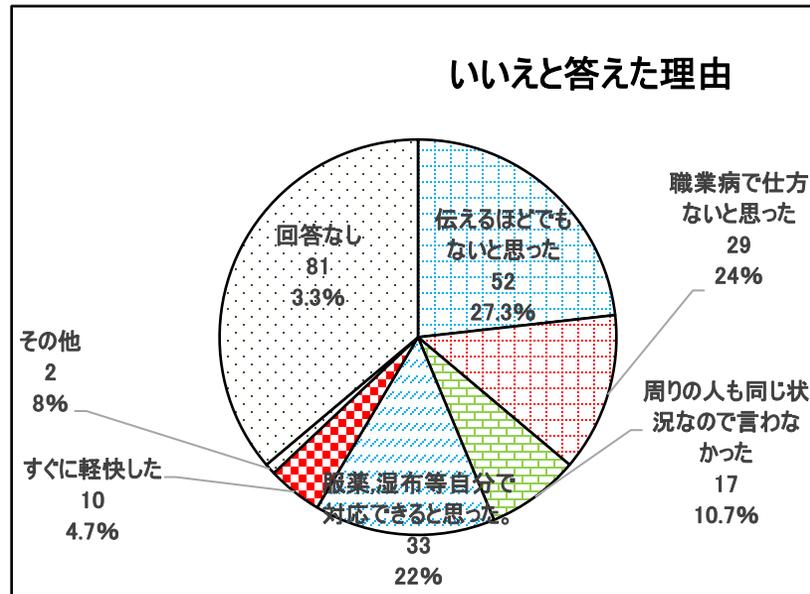
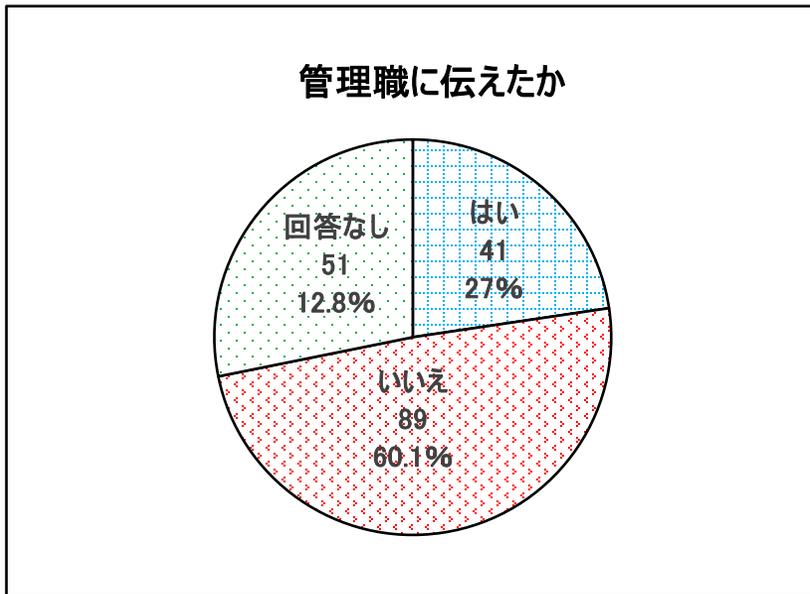
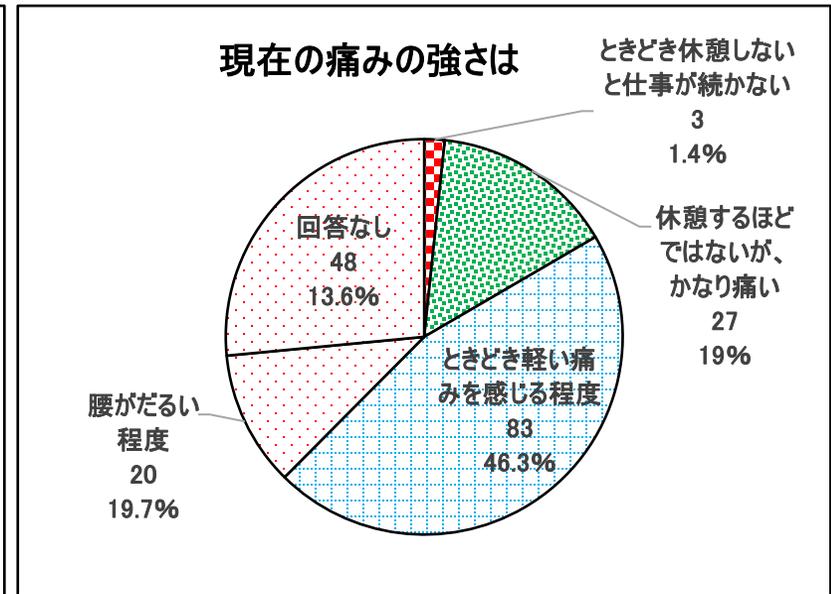
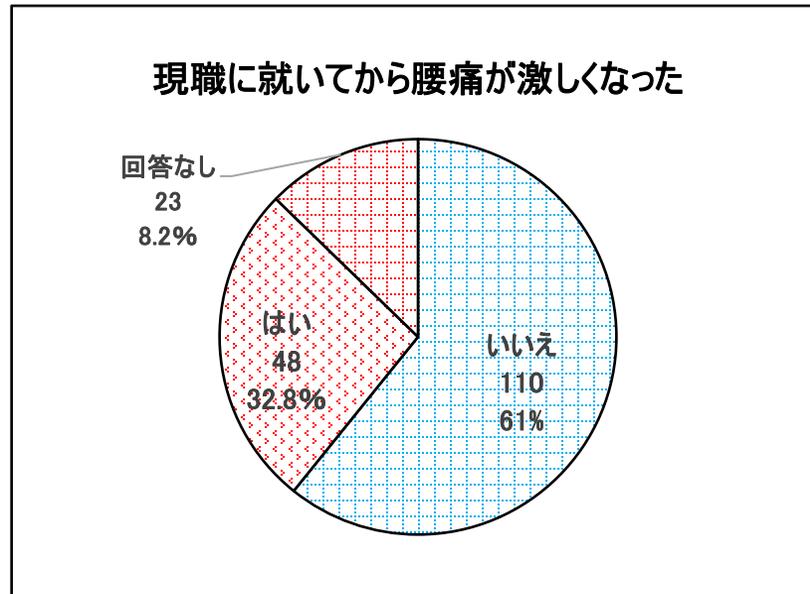
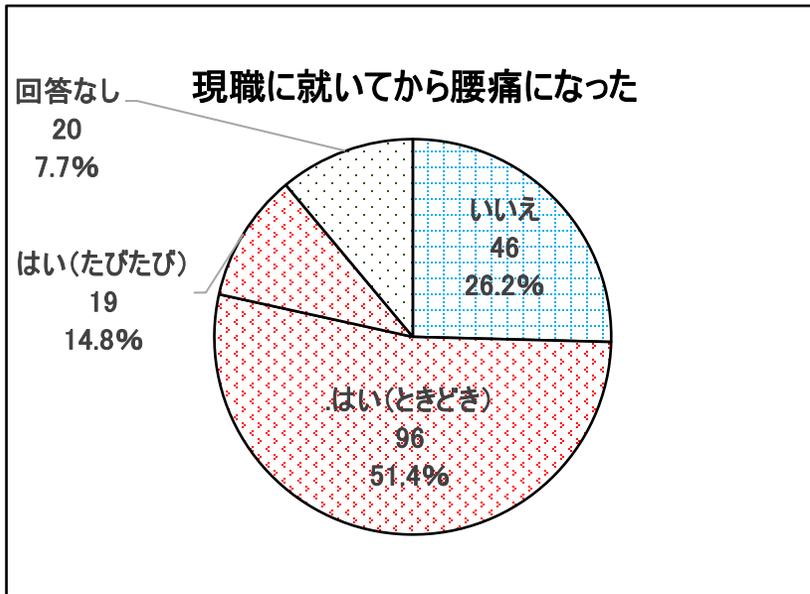
導入前職員アンケート結果(5事業所合計)n=181



導入前職員アンケート結果(5事業所合計)n=181

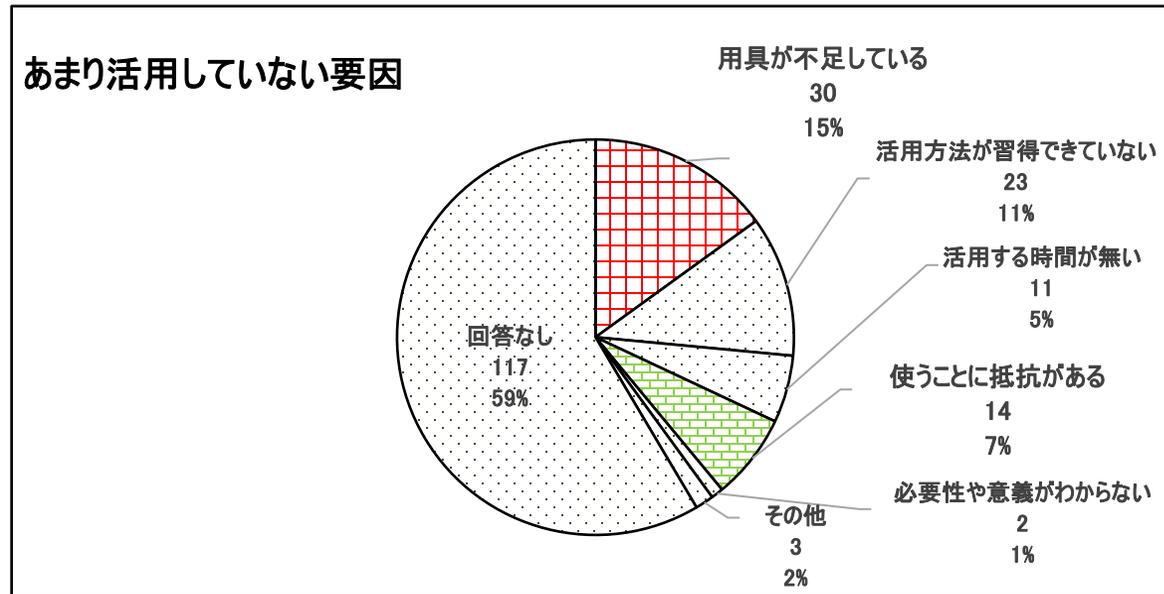
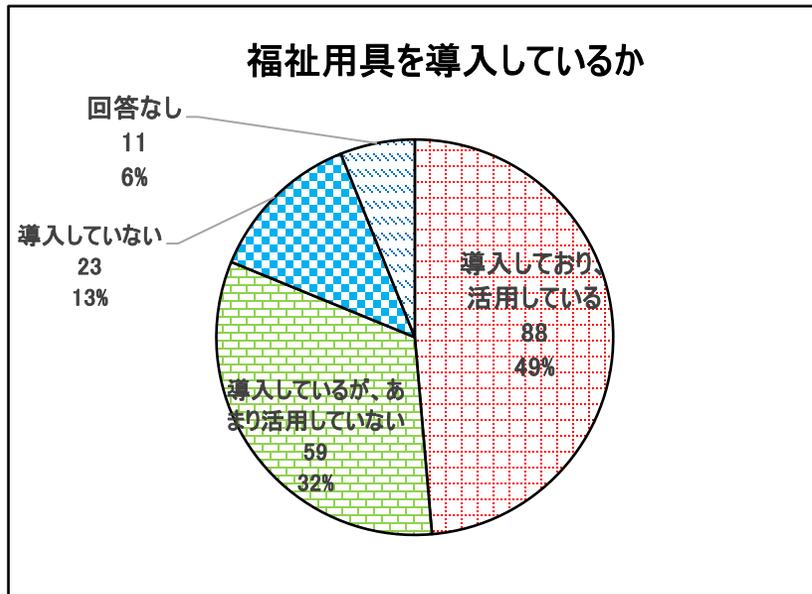
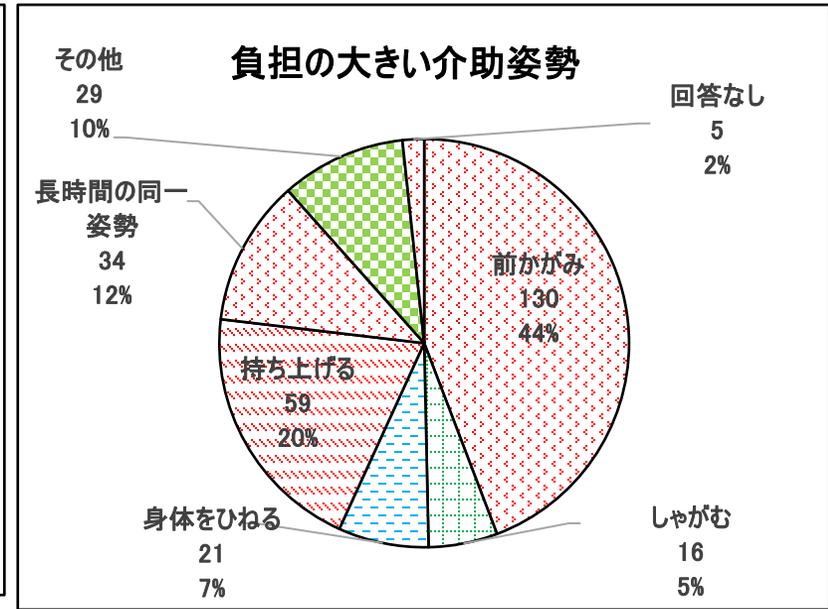
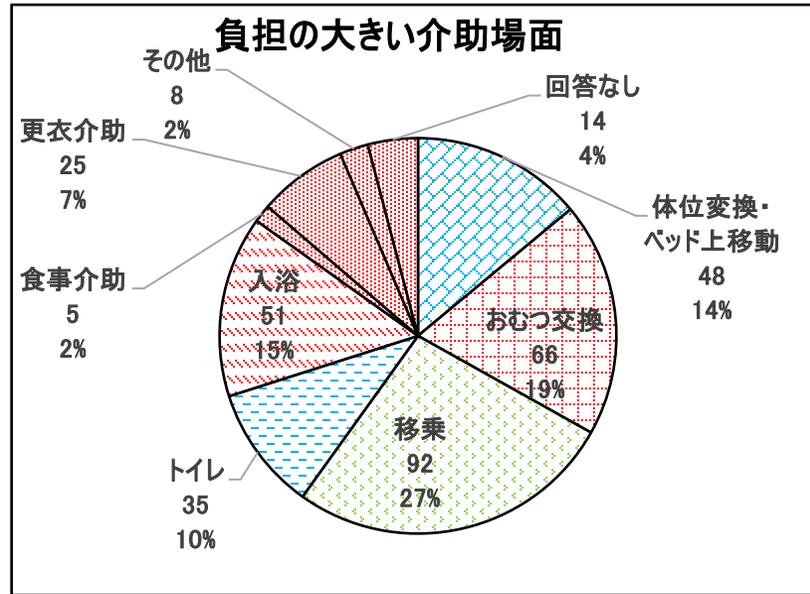
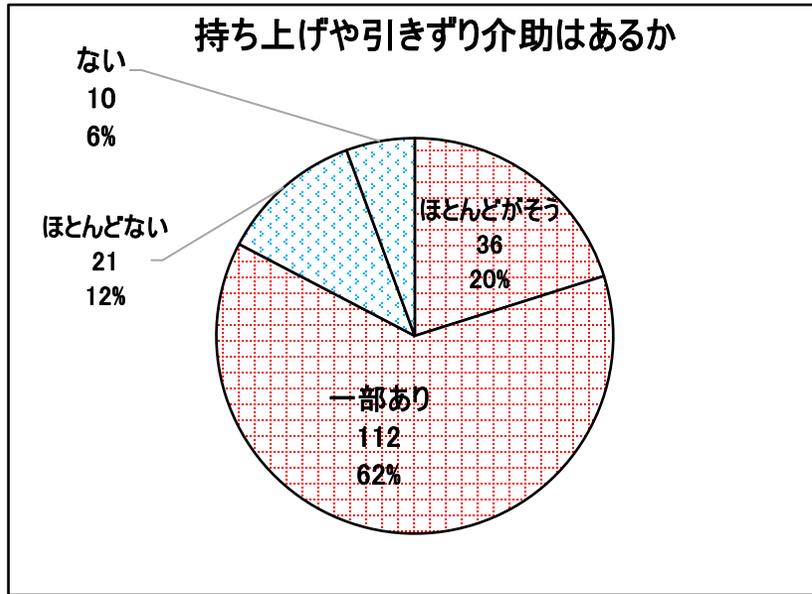


導入前職員アンケート結果(5事業所合計)n=181

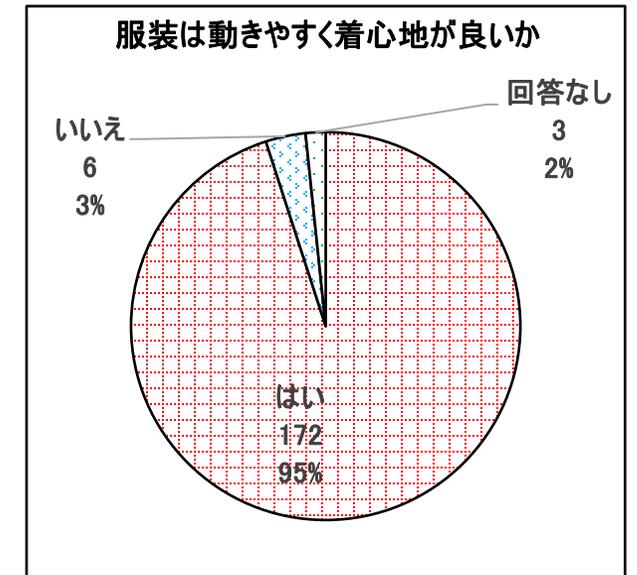
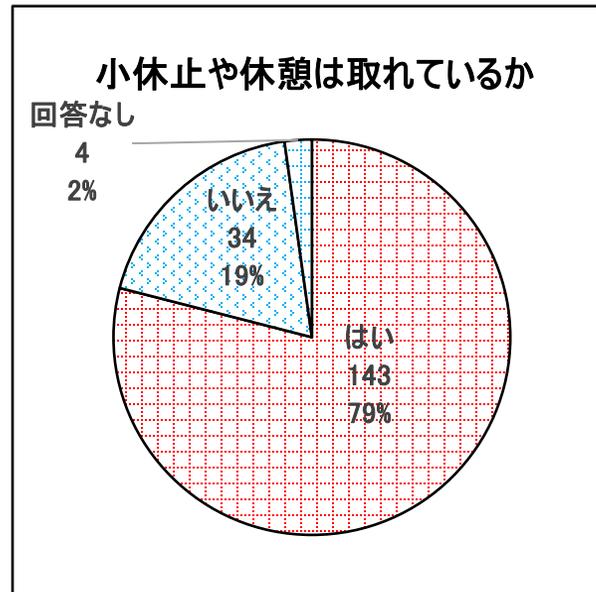
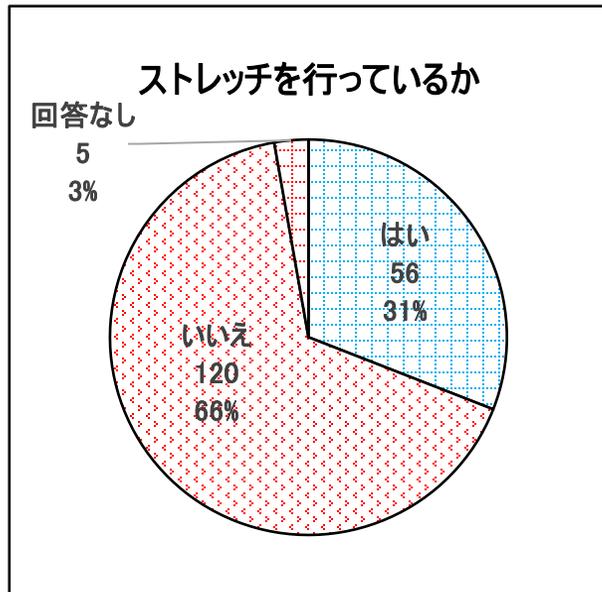
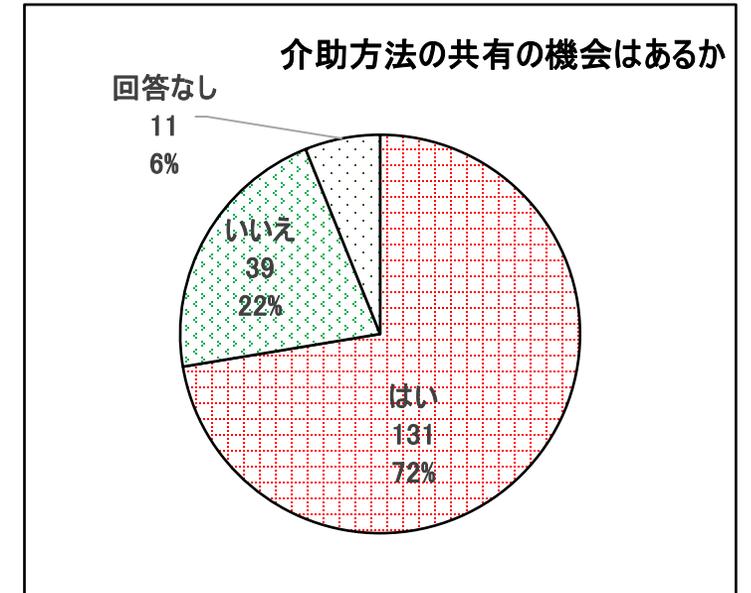
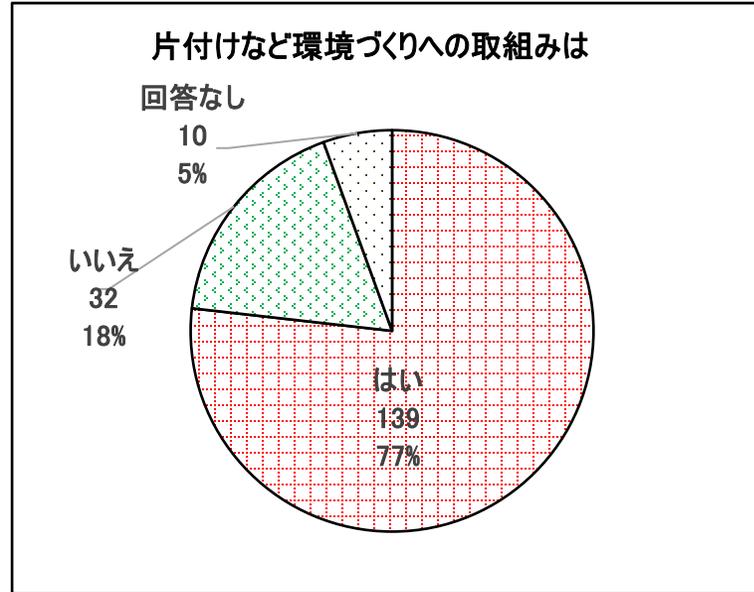
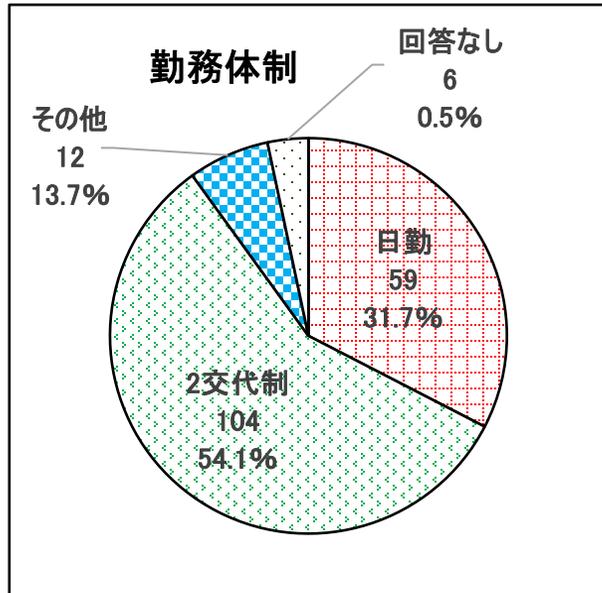


導入前職員アンケート結果(5事業所合計)n=181

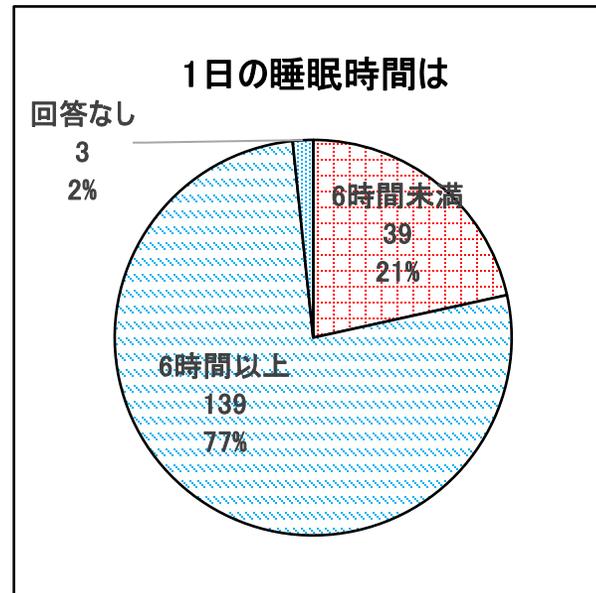
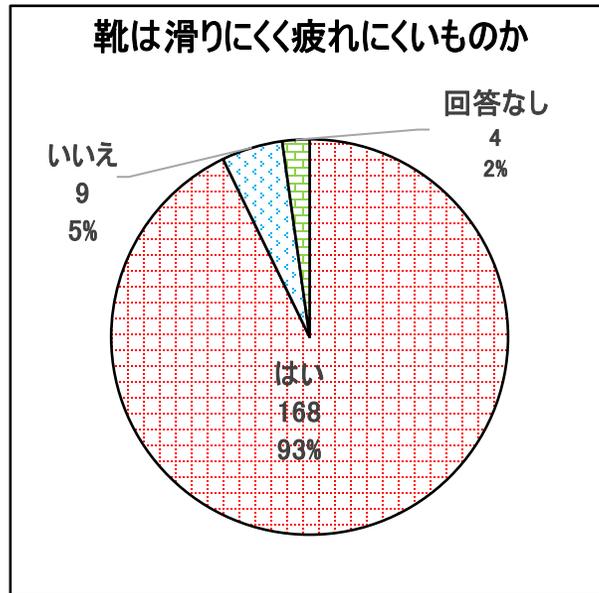
資料：P20



導入前職員アンケート結果(5事業所合計)n=181



導入前職員アンケート結果(5事業所合計)n=181



腰痛との関連性:

疲労回復の阻害因子

- ・勤務体制: 夜勤2交代 > 3交代 (夜勤者は仮眠が重要)
- ・準備運動の大切さ
- ・筋疲労による酸欠
- ・服装は通気性・伸縮性・保湿性のあるもの
- ・靴は滑りにくく衝撃に強いもの
- ・睡眠時間:
 - 6時間以下は腰痛 ↑
 - 仰臥位は修復する姿勢

導入前職員アンケートの結果をふまえて、
実態を把握した上で利用者アセスメントを行い、
双方の負担を軽減させるアプローチを実施

A large red triangle pointing to the left, serving as a background for the text.

ノーリフティングケア
普及啓発事業の
効果について

事業所の変化・効果

●事業所全体として

- ・協力事業所のアドバイスを受けることで、より具体的な取り組みの進め方など参考にすることができた
- ・協力事業所も推進事業所にアドバイスを行うことで事業所の取り組みの振り返りになっている
- ・施設の課題に向き合う機会となった
(利用者のリスク見積と職員の負担状況の把握)
- ・環境改善にも取り組んだ事業所がある
- ・法人内でも今後取り組みたいと個別研修に参加されるところもあった
- ・全体を通して「意識」が変わったのではないかと感じる



事業所の変化・効果

●「自身についてのアンケート」や「リスクの見積り」等の実施

⇒狭義（ケアに特化）ではあるが、さまざまなことを見える化することで
課題が明確になり、ケアを見直すきっかけとなった

●「介護者の安心・安全」の個別研修と居室等の巡回

■自分たちのからだの使い方、ケアの見直し

⇒利用者を見る視点が変わってきている

■自分たちが実際に研修で体験したことで理解が深まる

⇒双方のリスクと負担軽減の根拠と方法がわかる

■自分たちの安全への実践は、利用者を守ることにもつながること

持ち上げる・引きずるといったケアがもたらす利用者への弊害

について理解が深まっている

事業所の変化・効果

●「利用者の安心・安全＝姿勢の見方・姿勢の整え方」の個別研修

■利用者に対して**意識の変化**が見受けられる（ほとんどの事業所）

利用者の「**負担軽減**」は何かが伝わる

■自分たちが実際に研修で体験したことで理解が深まる

⇒**双方のリスクと負担軽減**の根拠と方法がわかる

■自分たちのからだの使い方、ケアの見直し

⇒利用者を見る**視点が変わってきている**

これからのところもありますが

双方の安心・安全、ケアの質の向上
本来の目的（真の目的）が伝わる
「トータルセーフティケア」の重要性の理解



今年度の効果の継続と課題の検討を行い
次年度も

利用者が、「**安心・安全な介護**」を受けられること
職員が、「**安心・安全な介護**」を提供できること
【労働衛生管理とトータルセーフティケア】



それが当たり前になるように
これからも取り組んで行きたいと思います



ご清聴ありがとうございました



ここからは推進事業所の皆さんの
取組み報告となります